

● 授業計画

1年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	木曜	4限	環境疫学特論	職場環境・一般環境における曝露因子の特徴を整理し、疫学的接近手法の違いについて解説する。曝露因子の典型例や有害影響の事例について解説する。また、人集団での曝露の同定とその実態記述方法、健康水準の評価方法、関係評価に係る生物統計的手法・疫学的手法を解説する。受講者は統計・疫学の基礎について予習しておくことが望ましい。	藤野 大河原	カンファレンス ルーム
1月 2月	第2 第4	月曜	4限	環境産業疫学特論 (がん専門医師養成科目)	職場環境、地域環境、地球環境の各段階の特徴を整理し、それに伴うがんの原因となりうる曝露因子について理解を深める。また、適切な統計的・疫学的方法によって人の集団におけるがんの罹患や治癒、有病、死亡に至る各エンドポイントの評価方法を検討する。環境疫学に対する分子疫学およびがん疫学の手法について解説し、その意義と課題について理解を深める。	藤野 大河原	カンファレンス ルーム
1月 2月	第3	月曜	4限	集団健診論 (がん専門医師養成科目)	集団健診の意義と得られたデータの活用について理解するため、集団健診より得られるベースラインデータの処理方法(データ収集、整理、分析、解釈)について解説する。また分析結果を疾病予防や健康増進対策に活用する具体例を紹介する。さらに、医療経済学的評価方法と保健医療施策について考える。	藤野 大河原	カンファレンス ルーム

2年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	木曜	4限	環境疫学特論	職場環境・一般環境における曝露因子の特徴を整理し、疫学的接近手法の違いについて解説する。曝露因子の典型例や有害影響の事例について解説する。また、人集団での曝露の同定とその実態記述方法、健康水準の評価方法、関係評価に係る生物統計的手法・疫学的手法を解説する。受講者は統計・疫学の基礎について予習しておくことが望ましい。	藤野 大河原	カンファレンス ルーム
毎月	第2	火曜 木曜	16:00 ~ 17:30	環境疫学演習	職場環境・一般環境で人が曝露する可能性のある因子について情報を整理するためPubMed等を用いて文献検索を行う。次に、独自の課題テーマを設定し、関連データをインターネット上のデータベース(厚生労働省、WHO、ILO等)から得る。その後、環境疫学的視点から解析を行い結果を導く。得られた結果の意義を検討し、労働者の健康悪影響や健康増進について議論を重ねる。最終的に発表を行い、レポート作成を行う。	藤野 大河原	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	環境疫学実習	実践的に職場環境あるいは一般環境下で労働者および住民がさらされる曝露因子および健康影響指標に係るデータを用いて、疫学的分析を行う。	藤野 大河原	カンファレンス ルーム

3年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第2	火曜 木曜	16:00 ～ 17:30	環境疫学演習	職場環境・一般環境で人が曝露する可能性のある因子について情報を整理するためPubMed等を用いて文献検索を行う。次に、独自の課題テーマを設定し、関連データをインターネット上のデータベース(厚生労働省、WHO、ILO等)から得る。その後、環境疫学的視点から解析を行い結果を導く。得られた結果の意義を検討し、労働者の健康悪影響や健康増進について議論を重ねる。最終的に発表を行い、レポート作成を行う。	藤野 大河原	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	環境疫学実習	職場環境・一般環境下で労働者および住民がさらされる曝露因子および健康影響指標に係るデータを実践的に用いて、疫学的分析を行う。	藤野 大河原	カンファレンス ルーム
毎月	第2 第4	金曜	4限	環境疫学論文指導	環境疫学に関する疫学的研究テーマを独自に設定し、データ収集・分析・考察を行いながら研究論文執筆を行い、学術雑誌への投稿を目指す。	藤野	カンファレンス ルーム

4年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	環境疫学実習	職場環境・一般環境下で労働者および住民がさらされる曝露因子および健康影響指標に係るデータを実践的に用いて、疫学的分析を行う。	藤野 大河原	カンファレンス ルーム
毎月	第2 第4	金曜	4限	環境疫学論文指導	環境疫学に関する疫学的研究テーマを独自に設定し、データ収集・分析・考察を行いながら研究論文執筆を行い、学術雑誌への投稿を目指す。	藤野	カンファレンス ルーム